

事業概要説明シート

事務事業番号 10501330003

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業																																																													
事業開始年度	2010(H22)年度		担当部署	子ども青少年部 子育て支援室																																																										
根拠法令	児童福祉法、枚方市こにちは赤ちゃん事業実施要綱																																																													
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:枚方市社会福祉協議会) <input type="checkbox"/> その他()																																																													
目的 (何のために)	全ての乳児のいる家庭を訪問し、子育て親子の孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育つことができる環境整備を図ることを目的とする。																																																													
対象 (誰・何を対象に)	市内に在住する生後4か月までの乳児のいる家庭																																																													
事業内容	必要な研修を受けた訪問員が、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭(保健センターによる新生児訪問実施家庭を除く。)を訪問し、育児に関する不安、悩みの傾聴及び相談、子育て支援に関する情報提供、乳児とその保護者の心身の状況と養育環境の把握を行う。 毎月1回、市の関係部署及び委託先によるケース会議を開催し、訪問結果についての情報を共有し、支援が必要と判断される場合は、支援内容等を決定し担当部署に引き継ぐ。																																																													
類似事業	①母子保健法に基づく新生児訪問(保健センターが実施。本事業対象家庭との重複はない) ②同様の事業を実施している自治体は多いが、実施手法は自治体により異なっている。																																																													
事業の必要性	外出する機会が少なく孤立しがちな月齢の乳児を養育する保護者の不安や悩みの傾聴及び相談を行ったり、4か月健診や、保育園・地域子育て支援拠点で実施している各種事業の利用を促すことで、継続的な支援につなげることが可能となり、保護者の孤立感の解消が期待できる。また、訪問の結果、支援が必要と判断されるケースについては、適切な機関が関わることで、子育てに係る不安や負担感の軽減、虐待の未然防止につなげることが可能となることから、必要な事業である。																																																													
コスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H23年度決算</th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度当初予算</th> </tr> <tr> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正職員</td> <td>0.20人</td> <td>1,618千円</td> <td>0.10人</td> <td>800千円</td> <td>0.10人</td> <td>791千円</td> </tr> <tr> <td>再任用職員</td> <td></td> <td>0千円</td> <td></td> <td>0千円</td> <td></td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(A)</td> <td></td> <td>1,618千円</td> <td></td> <td>800千円</td> <td></td> <td>791千円</td> </tr> <tr> <td>直接経費(B)</td> <td></td> <td>11,118千円</td> <td></td> <td>12,122千円</td> <td></td> <td>12,251千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費(A+B)</td> <td></td> <td>12,736千円</td> <td></td> <td>12,922千円</td> <td></td> <td>13,042千円</td> </tr> </tbody> </table>								H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	正職員	0.20人	1,618千円	0.10人	800千円	0.10人	791千円	再任用職員		0千円		0千円		0千円	非常勤職員等							人件費計(A)		1,618千円		800千円		791千円	直接経費(B)		11,118千円		12,122千円		12,251千円	総事業費(A+B)		12,736千円		12,922千円		13,042千円
	H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算																																																									
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費																																																								
正職員	0.20人	1,618千円	0.10人	800千円	0.10人	791千円																																																								
再任用職員		0千円		0千円		0千円																																																								
非常勤職員等																																																														
人件費計(A)		1,618千円		800千円		791千円																																																								
直接経費(B)		11,118千円		12,122千円		12,251千円																																																								
総事業費(A+B)		12,736千円		12,922千円		13,042千円																																																								
財源内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H23年度決算</th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度当初予算</th> </tr> <tr> <th></th> <th>千円</th> <th></th> <th>千円</th> <th></th> <th>千円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>5,502</td> <td>千円</td> <td>6,060</td> <td>千円</td> <td>11,520</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>受益者負担(使用料等)</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>7,234</td> <td>千円</td> <td>6,862</td> <td>千円</td> <td>1,522</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>								H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算			千円		千円		千円	国庫支出金	5,502	千円	6,060	千円	11,520	千円	府支出金		千円		千円		千円	受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円	その他		千円		千円		千円	一般財源	7,234	千円	6,862	千円	1,522	千円							
	H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算																																																									
		千円		千円		千円																																																								
国庫支出金	5,502	千円	6,060	千円	11,520	千円																																																								
府支出金		千円		千円		千円																																																								
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円																																																								
その他		千円		千円		千円																																																								
一般財源	7,234	千円	6,862	千円	1,522	千円																																																								
平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容					金 額																																																								
	こにちは赤ちゃん事業経費(委託料 11,921:社会福祉協議会、印刷製本費 201)					12,122 千円																																																								
						千円																																																								
					千円																																																									

事業概要説明シート

事務事業番号 10501330003

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業		
事業開始年度	2010(H22)年度	担当部署	子ども青少年部 子育て支援室

20

活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
	① 訪問実施数	件	2,960	2,663	2,550
② 訪問対象者に対する訪問した割合	%	100	100	100	
③					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 1件あたりの訪問に要する経費(総事業費/訪問実数)	千円	4.3	4.9	5.1
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	<p>育児に不安を感じることが多い在宅の子育て親子を支援するために、子どもが著しく発達する時期に、子どもの成長段階に応じた子育て支援に係る事業を連続的に実施することが必要である。その足掛かりとなる本事業は、生後4か月までの乳児のいる家庭を対象としていることから、4か月健診の受診率向上、また5～8か月児を対象とした「保育所(園)ふれあい体験事業」参加者及び地域子育て支援拠点事業利用者の増加を目標とする。</p> <p>併せて、訪問結果について関係部署・機関において共有する機会を設定することで、保護者の育児不安の軽減や虐待の未然防止を図り、子どもの健やかな成長を促すことを目標とする。</p>				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	<p>乳児家庭全戸訪問事業は多くの自治体で実施しているが、保健部門にて実施し保健師等の専門職が訪問員となっているケースが多く、本市のように専門職以外の訪問員(大阪府子ども家庭サポーター又はひらかた子育てサポーター講座を終了し、子育て支援の経験を有する者)が中心となって実施しているケースは珍しい。</p> <p>府あるいは市において養成したサポーターを訪問員とすることで、地域で孤立しがちな子育て親子を支える人材を育成し、支援者の裾野を広げることにつながる。また、対象世帯の近隣に居住する訪問員が担当することから、訪問を契機に継続的に交流したり、地域とのつながりのきっかけとなることが期待できる。</p>				
特記事項	<p>平成24年10月に実施したアンケートでは、「満足・やや満足」合わせて85%となっており、利用者の満足度は高い。また、訪問員に求めるのは、「自分の話を訪問員がじっくり聞いてくれること」と回答した方が43%と最も多くなっており、子育て支援に関する情報提供とともに、保護者の不安や悩みの傾聴を行う本事業は、利用者のニーズに概ね応えているものと考えられる。また、外出の機会の少ない保護者にとっては、対象世帯の近隣に居住する訪問員が担当することで、本事業をきっかけに、顔見知りとなった訪問員と継続的に交流・相談するケースもある。</p> <p>なお、訪問結果については、訪問員が作成する「訪問個表」に基づき、毎月開催するケース会議(子育て支援室・保健センター・家庭児童相談所及び社会福祉協議会で構成)において、それぞれの部署が全件確認し、支援が必要なケースの洗い出しや事業の課題などについて共有し、支援方針について協議するなど、保護者への支援や虐待の未然防止に向けたきめ細かいフォローを行っている。</p>				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策(平成24年度)	現状のまま継続	関係部署・機関とのさらなる連携強化を図り、乳児のいる家庭の孤立化を防ぎ、地域の中で子どもが健やかに育つことができる環境整備に取り組む。			
一次評価結果(平成24年度)	・効果の検証が必要では				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	<p>毎月開催するケース会議において、それぞれの部署が全件確認し、毎回、支援が必要なケースが抽出されている。それらのケースは担当部署へ引継ぎ、継続的な支援につながっていることから、育児不安の軽減や虐待の未然防止に寄与していると考えられる。</p> <p>今後は、訪問員のさらなるスキルアップの実施などにより、満足度を高めるとともに、4ヶ月健診の受診率向上や地域子育て支援拠点事業利用者の増加等に努める。</p>			